

漁業就業について

漁業とは、魚介類を獲ったり、養殖して販売することで利益を得る産業です。長崎県では、主として沿岸漁業、沖合漁業、養殖業に従事されている方が多くいらっしゃいます。また、従事形態から独立型と雇用型に分けられます。就業を希望される皆様方に対して希望をお聞きしながら就業を支援します。

長崎県での操業形態による分類

漁業者として地域に根付く 沿岸漁業

日帰りできる程度の沿岸部で行われる漁業です。10トン未満の漁船で行われることが多く、個人経営体が営むことが多いのが特徴です。
例)一本釣り、採介藻、刺網、小型底びき網など



船回を組み漁を行う 沖合漁業

2〜3日程度で帰る近海から1ヶ月程度におよぶ船上生活を必要とするもので、魚種や漁法、漁場などにより違いがあります。大きい船であれば100〜300トンクラスまで、漁船の大きさも多彩で、漁業会社など資本を持った経営体が営むことが多いのが特徴です。
例)大中型まき網、以西底びき網など

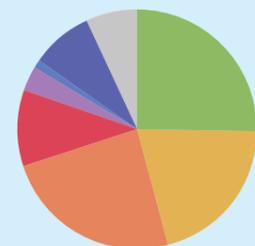


魚介類の育成・管理を行う 養殖業

船で30分以内の沿岸部で、魚類、貝類、藻類を育てて出荷します。魚類では餌をやり、貝類や藻類では種を付けたロープなどを海に入れ海の栄養分で育てます。
例)ブリ養殖、トラフグ養殖、マゴロ養殖、カキ養殖など



長崎県の漁業種類別
新規漁業就業者数



- 釣・延縄・曳縄…45名
- まき網……………37名
- 養殖……………43名
- 定置網……………18名
- 刺網……………6名
- イカ釣……………2名
- 採貝……………15名
- その他……………12名

平成28年〜令和2年間5年平均
(長崎県調べ)

従事形態による分類

独立型



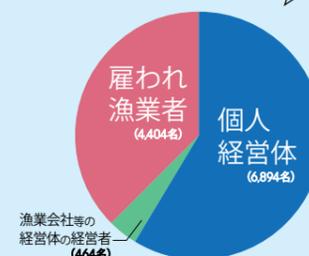
一人で独立してあるいは少人数を雇って実施する形態です。経営に関する意思決定を自分の意志でできますが、相当の漁業技術を身につける必要があります。
例)一本釣り、採介藻、刺網、小型底びき網など

雇用型



雇われながら漁業に従事します。使用する漁船や漁具の規模が大きく莫大な費用がかかるため、漁業会社など資本を持った経営体に雇われることが多いのが特徴です。
例)まき網、定置網、養殖業など

長崎県の自営・雇われ別
漁業就業者数



出典:2018漁業センサ報告書

長崎県の年齢階層別
新規漁業就業者数



平成28年〜令和2年間5年平均(長崎県調べ)

